

令和元年度

京都市地域リハビリテーション 推進研修プログラム



「地域に帰る」がモットーの地域リハビリテーション推進センターのPRキャラクター「地域ガエル」です!



京都市地域リハビリテーション推進センター

私たちは、地域リハビリテーションのより一層の推進や、高次脳機能障害のある方やからだの動きに障害のある方への支援等の取組を通じて、障害のある市民の方が、その人らしくいきいきと地域で暮らし、いける社会づくりを進めています。



令和元年度

京都市地域リハビリテーション推進研修 実施要領

1 目的

本研修は、リハビリテーションに関連する知識及び介護技術等の向上を目的とした研修を行うことにより、本市における地域リハビリテーションの推進及び充実を図るとともに、福祉・介護サービス等の質の向上に資することを目的とします。

2 受講対象者

次のいずれかに該当している方

(1) 次に定める事業に従事する市内事業所の職員

ア 障害者総合支援法による障害福祉サービス等及び相談支援

イ 児童福祉法による障害児入所支援及び障害児通所支援

ウ 介護保険法による居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護予防サービス事業所、地域密着型介護予防サービス事業所、介護保険施設、介護予防・日常生活支援総合事業の第一号事業に係る指定事業所及び地域包括支援センター

(2) 市内の総合支援学校及び育成学級等に勤務している教職員

(3) 障害者の支援に関する業務に従事している本市職員

(4) 障害者の支援等を行っている市内団体等に所属する方

(5) 障害者雇用を進める企業に所属する方等

(6) その他、研修内容に応じて、市長が認める方

3 研修日程及び内容

研修内容一覧のとおり。

4 会場

会場	所在地
京都市地域リハビリテーション推進センター	京都市中京区壬生仙念町 30 (四條御前北西角、ラポール京都の東隣) 次頁地図参照

5 申込方法等

研修申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXにてお申込みください。

申込者1人につき1枚の用紙に御記入願います。

なお、申込書は当センターホームページからダウンロードすることも可能です。

(右QRコードからもアクセス可能です。)

●ダウンロード方法

(1) 「京都市地域リハ」で検索

(2) 「京都市地域リハビリテーション推進センター」をクリック

(3) 「地域リハビリテーションの推進」をクリック

(4) 「地域リハビリテーション推進研修」をクリック



申込先・問合せ先	〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 京都市地域リハビリテーション推進センター相談課 地域リハビリテーション推進担当(中谷・上垣)宛 (TEL 823-1666 ・ FAX 842-1541)
締切	各開催日の3日前(ただし定員に達し次第、締切ります。)

6 受講料

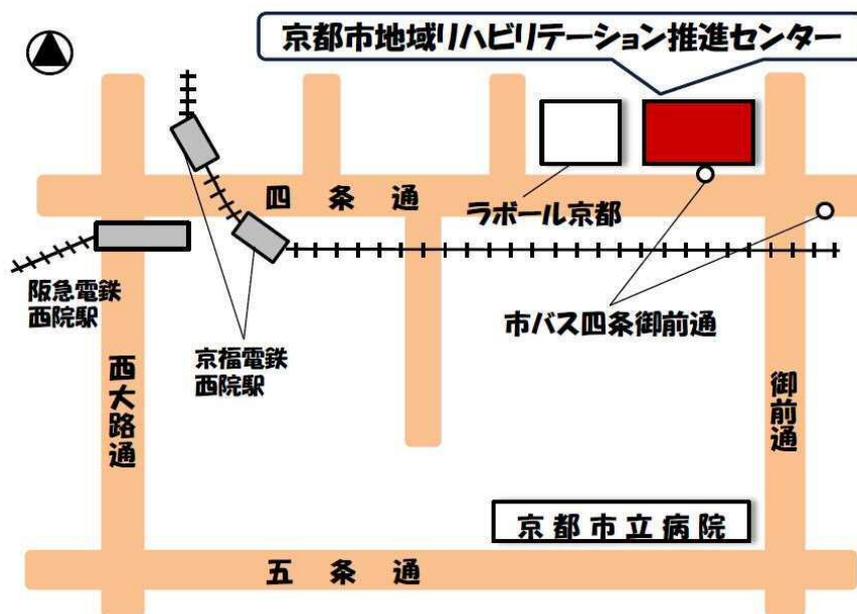
無料

7 受講

受講の可否については当センターより御連絡させていただきます。
参加当日は、研修申込書を御持参のうえ会場までお越しください。

8 留意事項

- (1) やむを得ず欠席される場合は、必ず事前に御連絡ください。
- (2) 締切後においても、定員に達していない等により受講枠に空きがある場合には、申込を受付けますのでお問い合わせください。
- (3) 聴覚障害により手話通訳等が必要な方は、各講座の2週間前までに御連絡ください。
- (4) 自家用車での御来場はできません。公共交通機関等を御利用ください。



※四条烏丸から

市バス (3, 8, 11, 13, 特13, 26, 29, 91, 203系統) で四条御前通下車すぐ

※京都駅から

市バス (26, 28系統) で四条御前通下車すぐ

※阪急電鉄西院駅 (北改札口・南改札口) から徒歩3分

※京福電鉄西院駅から徒歩3分



FAX 送付先：075-842-1541

受理印

令和元年度 京都市地域リハビリテーション推進研修（講座）申込書

必要事項を御記入のうえ、該当する□にチェックをしてください。
お一人につき1枚記入してください。

ふりがな			経 験 年 数	年 月
申込者氏名				
	※主に行っている業務を <u>一つチェック</u> してください <input type="checkbox"/> 生活支援員（指導員） <input type="checkbox"/> 相談員 <input type="checkbox"/> 管理者（サービス管理責任者・サービス提供責任者） <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 介護職員 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 機能訓練指導員 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> ケースワーカー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 事務員 <input type="checkbox"/> セラピスト（PT, OT, ST） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
受講希望日	<input checked="" type="checkbox"/> 7月2日（火） <input type="checkbox"/> 自閉症スペクトラム <input type="checkbox"/> ことばの遅れのある方とのコミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 7月9日（火） <input type="checkbox"/> 気分障害の方の疾患理解とその支援 <input type="checkbox"/> 精神障害のある方の地域支援 <input checked="" type="checkbox"/> 7月10日（水） <input type="checkbox"/> 障がいのある方の性教育・金銭教育 <input checked="" type="checkbox"/> 7月25日（木） <input type="checkbox"/> 災害時、障がいのある方・高齢者はどう生き抜くか <input type="checkbox"/> 医療的ケア児 <input checked="" type="checkbox"/> 7月26日（金） <input type="checkbox"/> 対人援助職に効くストレスマネジメント <input checked="" type="checkbox"/> 8月2日（金） <input type="checkbox"/> 重症心身障害児者の食事（摂食・嚥下）の進め方 <input checked="" type="checkbox"/> 8月8日（木） <input type="checkbox"/> ライフステージに応じた重度脳性麻痺の方の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 8月27日（火） <input type="checkbox"/> サルコペニアを予防・改善する栄養食事ケア <input type="checkbox"/> サルコペニアを呈する方への効果的な運動 <input checked="" type="checkbox"/> 9月6日（金） <input type="checkbox"/> 行動障害の理解と支援 <input checked="" type="checkbox"/> 9月11日（水） <input type="checkbox"/> 知的障害のある方の加齢変化の特徴と支援課題 <input checked="" type="checkbox"/> 9月27日（金） <input type="checkbox"/> 認知症の方の思いを引き出すコミュニケーション法 <input checked="" type="checkbox"/> 10月3日（木） <input type="checkbox"/> 発達障害のある子どもを持つ家族への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 10月4日（金） <input type="checkbox"/> 利用者のやる気、QOL向上につながる多職種連携 <input type="checkbox"/> 高齢者の摂食・嚥下支援 <input checked="" type="checkbox"/> 10月17日（木） <input type="checkbox"/> 発達障害特性を有する子どもたちの発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 11月7日（木） <input type="checkbox"/> ひきこもり～初級編～ <input checked="" type="checkbox"/> 11月20日（水） <input type="checkbox"/> 統合失調症の陽性症状の理解 <input type="checkbox"/> アルコール依存症の理解と支援 <input checked="" type="checkbox"/> 11月22日（金） <input type="checkbox"/> てんかんの基礎知識と発作時の介助 締切は各講座の3日前 ※期日前であっても定員に達し次第締切りますのでお早めにお申込下さい。			
所属している事業所等	名称			
	所在地	〒 -		
	電話番号	()		
	FAX 番号	()		
事業所等種別	事業分類	<input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 介護 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 一般企業 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	サービス事業所種別	※主なもの <u>一つにチェック</u> してください <input type="checkbox"/> 入所 <input type="checkbox"/> 通所 <input type="checkbox"/> 居宅・訪問介護 <input type="checkbox"/> 相談支援事業 <input type="checkbox"/> 市役所・区役所・支所 <input type="checkbox"/> 総合支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）		



FAX 送付先：075-842-1541

受理印

令和元年度 京都市地域リハビリテーション推進研修（実習）申込書

必要事項を御記入のうえ、該当する□にチェックをしてください。
お一人につき1枚記入してください。

ふりがな		経 験 年 数	
申込者氏名			年 箇月
	<p>※主に行っている業務を<u>一つチェック</u>してください</p> <p><input type="checkbox"/>生活支援員（指導員）<input type="checkbox"/>相談員 <input type="checkbox"/>管理者（サービス管理責任者・サービス提供責任者）<input type="checkbox"/>保育士</p> <p><input type="checkbox"/>ケアマネジャー <input type="checkbox"/>ホームヘルパー <input type="checkbox"/>介護職員 <input type="checkbox"/>看護師 <input type="checkbox"/>機能訓練指導員 <input type="checkbox"/>教員</p> <p><input type="checkbox"/>ケースワーカー <input type="checkbox"/>保健師 <input type="checkbox"/>事務員 <input type="checkbox"/>セラピスト（PT,OT,ST） <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>		
受講希望日	●「介助方法～移乗編～」 <input type="checkbox"/> 6月25日（火） <input type="checkbox"/> 8月23日（金） <input type="checkbox"/> 10月24日（木）		
	●「介助方法～ベッド上移動・起き上がり編～」 <input type="checkbox"/> 7月30日（火） <input type="checkbox"/> 12月2日（月）		
	●「現場に活かす！機能維持体操～集団体操編～」 <input type="checkbox"/> 7月18日（木） <input type="checkbox"/> 9月13日（金）		
	●「現場に活かす！機能維持体操～個別運動編～」 <input type="checkbox"/> 8月6日（火） <input type="checkbox"/> 11月13日（水）		
	●「車椅子のシーティング」 <input type="checkbox"/> 9月3日（火）		
	●「お風呂に入ろう！」 <input type="checkbox"/> 9月19日（木）		
	●「トイレに行こう！」 <input type="checkbox"/> 10月9日（水）		
	●「ご飯を食べよう！」 <input type="checkbox"/> 11月11日（月）		
	●「お出かけしよう！」 <input type="checkbox"/> 11月26日（火）		
	●「ゲームを通したグループワーク」 <input type="checkbox"/> 10月25日（金）		
	●「失語症の方のレクリエーション」 <input type="checkbox"/> 10月30日（水）		
	<p>締切は各講座の3日前</p> <p>※期日前であっても定員に達し次第締切りますのでお早めにお申込下さい。</p> <p>※動きやすい服装でご参加下さい。</p>		
所属している事業所等	名称		
	所在地	〒 ー	
	電話番号	()	
	FAX 番号	()	
事業所等種別	事業分類	<input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 介護 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 一般企業 <input type="checkbox"/> その他()	
	サービス事業所種別	<p>※主なものを<u>一つにチェック</u>してください</p> <p><input type="checkbox"/>入所 <input type="checkbox"/>通所 <input type="checkbox"/>居宅・訪問介護 <input type="checkbox"/>相談支援事業 <input type="checkbox"/>市役所・区役所・支所</p> <p><input type="checkbox"/>総合支援学校 <input type="checkbox"/>その他()</p>	

令和元年度 京都市地域リハビリテーション推進研修 講座一覧

●印は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。
★印は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

日	時間	テーマ・講師
7月2日 (火)	13:30 ～15:00	「自閉症スペクトラムの特性理解」 京都市児童福祉センター 係長 精神科医 田中 浩一郎
	15:20 ～16:50	「ことばの遅れのある方とのコミュニケーションの工夫 ～マカトン法を中心に～」 奈良大学 社会学部 心理学科 教授 臨床心理士 言語聴覚士 磯部 美也子 氏
7月9日 (火)	13:30 ～15:00	「精神障害の基礎知識① 気分障害の方の疾患理解とその支援」★ 京都市こころの健康増進センター 係長 精神科医 田中 晴佳
	15:20 ～16:50	「精神障害のある方の地域支援～医療機関との連携～」★ 京都市こころの健康増進センター 所長 精神科医 波床 将材
7月10日 (水)	9:30 ～11:30	「障がいのある方の性教育・金銭教育」 NPO法人 ら・し・さ 理事 NPO法人 障がい者・高齢者市民後見 STEP 理事 鹿野 佐代子 氏
7月25日 (木)	13:30 ～15:00	「災害時、障害のある方・高齢者はどう生き抜くか ～災害への備え～」 認定 NPO 法人 ゆめ風基金 理事・事務局長 八幡 隆司 氏
	15:20 ～16:50	「医療的ケア児の基礎知識～安全なケアを行うために～」 訪問看護ステーション あおぞら京都 看護師 松井 裕美子 氏
7月26日 (金)	13:30 ～15:30	「対人援助職に効くストレスマネジメント」 鳥取大学大学院 医学系研究科 臨床心理学専攻 准教授 竹田 伸也 氏
8月2日 (金)	13:30 ～15:00	「重症心身障害児者の食事（摂食・嚥下）の進め方について」 島田療育センター 外来看護師長 摂食嚥下障害看護認定看護師 舟田 知代 氏
8月8日 (木)	13:30 ～15:00	「ライフステージに応じた重度脳性麻痺の方の支援」 びわこ学園医療福祉センター草津 理学療法士 高塩 純一 氏
8月27日 (火)	13:30 ～15:00	「サルコペニアを予防・改善する栄養食事ケア」● 京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部 副部長 管理栄養士 幣 憲一郎 氏
	15:20 ～16:50	「サルコペニアを呈する方への効果的な運動について」● 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科長 教授 理学療法士 三木屋 良輔 氏

日	時間	テーマ・講師
9月6日 (金)	9:30 ～11:30	「行動障害の理解と支援～自傷・他害行為を中心に～」 畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授 大久保 賢一 氏
9月11日 (水)	10:00 ～11:30	「知的障害のある方の加齢変化の特徴と支援課題 ～ダウン症を中心に～」 大阪医科大学 小児高次脳機能研究所 所長 小児科医 玉井 浩 氏
9月27日 (金)	10:15 ～12:15	「認知症の方の思いを引き出すコミュニケーション法」● 関西福祉科学大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 都村 尚子 氏
10月3日 (木)	9:30 ～11:30	「発達障害のある子どもを持つ家族への支援 ～ペアレントトレーニングについて～」 京都ペアレントトレーニング研究会 臨床心理士 金納 史佳 氏 臨床心理士 井上 朋美 氏
10月4日 (金)	13:30 ～15:00	「利用者のやる気、QOL向上につながる多職種連携」● 関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 社会福祉士 藤原 慶二 氏
	15:20 ～16:50	「高齢者のための摂食・嚥下機能支援」● 京都リハビリテーション病院 言語聴覚士 徳島 大樹 氏
10月17日 (木)	9:30 ～11:30	「発達障害特性を有する子どもたちの発達支援」 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 准教授 理学療法士 信迫 悟志 氏
11月7日 (木)	13:30 ～15:00	「精神障害の基礎知識② ひきこもり～初級編～」★ 京都市こころの健康増進センター 所長 精神科医 波床 将材
11月20日 (水)	13:30 ～15:00	「精神障害の基礎知識③ 統合失調症の陽性症状の理解」★ 岡本クリニック メンタルケア室 室長 精神科医 岡本 慶子 氏
	15:20 ～16:50	「精神障害の基礎知識④ アルコール依存症の理解と支援」★ 安東医院 院長 精神科医 安東 毅 氏
11月22日 (金)	13:30 ～15:30	「てんかんの基礎知識と発作時の介助」 川崎医院 院長 精神科医 川崎 淳 氏

定 員	64名
場 所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室

令和元年度 京都市地域リハビリテーション推進研修 実習一覧

日	時間	テーマ・講師
6月25日(火)	15:00~17:00	「現場で役立つ！介助方法 ～移乗編～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 ＊各日程とも同様の内容を行います。
8月23日(金)	9:30~11:30	
10月24日(木)	13:30~15:30	
7月30日(火)	13:30~15:30	「現場で役立つ！介助方法 ～ベッド上移動・起き上がり編～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 ＊各日程とも同様の内容を行います。
12月2日(月)	9:30~11:30	
定員	8名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	

日	時間	テーマ・講師
7月18日(木)	9:30~11:30	「現場に活かす！機能維持体操 ～座位でできる集団体操編～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 ＊各日程とも同様の内容を行います。
9月13日(金)	13:30~15:30	
定員	8名	
8月6日(火)	13:30~15:30	「現場に活かす！機能維持体操 ～臥位でできる個別運動編～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 ＊各日程とも同様の内容を行います。
11月13日(水)	9:30~11:30	
定員	10名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室	

日	時間	テーマ・講師
9月3日(火)	13:30~16:30	「車椅子のシーティング ～崩れた座位への対処法あれこれ～」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士 義肢装具士
定員	30名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 3階 体育館	

日	時間	テーマ・講師
9月19日(木)	13:30~16:30	「お風呂に入ろう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
10月9日(水)	13:30~16:30	「トイレに行こう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
11月11日(月)	13:30~16:30	「ご飯を食べよう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 作業療法士 言語聴覚士
定員	6名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 4階 ADL室	

日	時間	テーマ・講師
11月26日(火)	13:30~16:30	「お出かけしよう！」 京都市地域リハビリテーション推進センター 相談課 理学療法士 作業療法士
定員	6名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 3階 体育館	

日	時間	テーマ・講師
10月25日(金)	10:00~12:00	「ゲームを通じたグループワーク」 京都市地域リハビリテーション推進センター 心理判定員 作業療法士
10月30日(水)	10:00~12:00	「失語症の方も一緒に楽しめるレクリエーション」 京都市地域リハビリテーション推進センター 言語聴覚士
定員	6名	
場所	京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 ミーティングルーム	



自閉症スペクトラムの特性理解

7月2日(火) 13:30~15:00

近年、自閉症スペクトラム（ASD）は脳のバリエーションの一つであると考えられるようになってきました。

本講座では、「自閉症スペクトラムの人の体験とは、どんな感じなのか?」「何が得意で、どんなことに困りごとを抱えやすいのか?」などについて、主に発達特性という切り口から紹介しつつ、より良い関わり方や日常の支援方法などを学んでいきます。

<講師>

たなか こういちろう
田中 浩一郎

京都市児童福祉センター 係長 精神科医

20年以上、京都市児童福祉センターで児童精神科医として勤務。

京都市児童福祉センターは、子どもに関するさまざまな心配、不安などについて専門スタッフが相談をお受けし、専門的な調査などを行い、助言、指導、判定、治療、訓練などの支援を総合的かつ系統的行う児童福祉の総合機関です。

ことばの遅れのある方とのコミュニケーションの工夫 ～マカトン法を中心に～

7月2日(火) 15:20~16:50

知的障害や発達障害のある方とのコミュニケーションでは、さまざまな生活場面の中で受取り方や伝え方の難しさを感じることがあります。

本講座では、言語発達の基本的知識から、障害のタイプに応じたコミュニケーションの工夫について、マカトン法を中心に学びます。マカトン法は、知的障害やダウン症、自閉症をもつ方へも幅広く適用されており、ことばを話すことが苦手な方たちへの言語・コミュニケーション指導に有効といわれています。



<講師>

いそべ みやこ
磯部 美也子氏

奈良大学 社会学部 心理学科 教授
臨床心理士 言語聴覚士

1983年～ 滋賀県中央児童相談所、彦根児童相談所
2000年 英国にてMakaton Vocabulary 海外普及資格取得
2003年～ 大阪体育大学健康福祉学部
2014年～ 現職

主な著書・論文

- ★『マカトン法への招待』（旭出学園教育研究所 編著 2008）
- ★『よくわかる臨床発達心理学』（ミネルヴァ 書房 共著 2005）
- ★新版K式発達検査結果における個人内差検討のための分析・表記方法について（奈良大学 紀要第45号 単著 2017）

主な臨床活動

発達相談、言語・コミュニケーション指導、
スクールカウンセリング、
特別支援教育巡回相談、児童養護施設等

精神障害の基礎知識①

気分障害の方の疾患理解とその支援

この研修は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

7月9日(火) 13:30～15:00

気分障害（うつ病，躁うつ病）は回復可能な疾患ですが再発率が高く，また，高齢者のうつ病も増加しています。一方で，気分障害の方の症状は，薬物療法や生活上の工夫により安定していきます。

本講座では，疾患に関する基礎知識やその薬物療法について学び，うつ病や躁うつ病の方への関わり方のポイントや，高齢者のうつ病の特徴について考えます。

<講師>

たなか はるか
田中 晴佳

京都市
こころの健康増進センター
係長 精神科医

大阪医科大学卒業後，初期臨床研修を経て京都大学精神科へ入局。京都大学医学部附属病院，京都博愛会病院での勤務を経て，2015年より京都市こころの健康増進センター相談援助課に勤務。

- ・精神保健指定医
- ・日本精神神経学会認定 精神科専門医

近年「うつ病」の概念は広がりを見せ，治療方法や関わり方も多様化してきています。本講座が，気分障害を持つ方一人一人に合わせた治療や支援について考える足がかりとなればと考えています。

精神障害のある方の地域支援

～医療機関との連携～

この研修は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

7月9日(火) 15:20～16:50

精神障害のある方は，適切な医療的介入（薬物療法や精神療法など）と支援を行うことにより，症状のコントロールが可能となり，安定した日常生活を送ることができる場合が多くあります。

本講座では，精神医療や薬に関して基本的な事柄を知り，医療との上手な付き合い方を考え，地域生活の支援者だからこそ気づく当事者の日々の様子や変化を，どのようにして医療へつないでいくかなど，医療機関との連携について学びます。

<講師>

はとこ まさき
波床 将材

京都市
こころの健康増進センター
所長 精神科医

大学病院で研修後，精神科病院，総合病院精神科で臨床医として勤務。

2004年 京都市こころの健康増進センターに勤務。

2011年～現職

- ・精神保健指定医
- ・日本精神神経学会認定 精神科専門医

京都市こころの健康増進センターは，市民の皆さんへのこころの健康についての情報提供をはじめとして，相談援助や精神障害のある方への社会参加の促進などに取組んでいます。

障がいのある方の性教育・金銭教育

7月10日(水) 9:30~11:30

「公共の場でのマナー」「特定の異性への接触行為」「日常生活での浪費」「有害サイトや携帯電話によるさまざまな被害」など、障がいのある方に関わる日々の支援で、利用者の性や金銭管理の問題で苦慮することもあります。これらの問題はデリケートであるため、支援者間での相談もしづらく、支援に関する有益な情報が集まりにくいのではないのでしょうか。

本講座では、障がいのある方の性や金銭管理の教育について、支援者としてどのような対応が望ましいのかを研修指導の豊富な講師から具体例を通して学びます。



<講師>

しかの さよこ
鹿野 佐代子氏

NPO 法人 ら・し・さ 理事
NPO 法人 障がい者・高齢者市民後見
STEP 理事

33年務めた障がい者福祉施設で、結婚支援をきっかけに「性」と「お金」に関する支援の大切さに気づく。その後、性教育を学び、ファイナンシャル・プランナーの資格を取得。現場で起こる性や金銭トラブル、親亡きあとの対策について事例研究を行い論文発表や執筆を行う。

社会活動

障がい者団体や親の会、特別支援学校等、企業を対象に年間80回以上の講演活動をしている。論文も多数論文賞を受賞。テレビのコメンテーターとしても活動中。

主な著書

- ★知的障がいのある人の性・生活支援 (JASE 現代性教育研究月報 2008.9)
- ★『今日からはじめる!障がいのある子のお金トレーニング』(共著)(翔泳社出版 2016)
- ★2018年『誤学習・未学習を防ぐ!発達の気になる子の「できた!」が増えるトレーニング』(翔泳社(共著)出版)第3版の重版が決定!!

災害時、障害のある方・高齢者はどう生き抜くか ～災害への備え～

7月25日(木) 13:30~15:00

いつ、どこで起きるかわからない大規模災害。日中に災害が起きた場合、事業所では利用者の安全を確保しなければなりません。それだけでなくサービス提供を継続しつつ、普段以上の対策が求められることが想定されます。災害を意識し、備えの必要性を感じながらも、何をどんな形で対策すればいいのか悩んでいる事業所も多いのではないのでしょうか。

東日本、熊本等の大規模災害でいち早く現地につけ、被災地障害者支援センターを立ち上げて支援された経験を通して、今必要とされる防災や災害時の対応などについてお話いただきます。



<講師>

やはた たかし
八幡 隆司氏

認定NPO法人 ゆめ風基金
理事・事務局長

1957年生まれ。知的障害者授産施設指導員を経て、「豊能障害者労働センター」設立にも関わる。1995年1月兵庫県南部地震障害者救援本部を設立し、全国のネットワークの協力を得て阪神間の障害者支援にあたる。以降さまざまな災害支援に当たり、2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2018年西日本豪雨でもいち早く現地入りし支援をしている。

編著書

- ★「障害者市民防災提言集」
- ★「障害者防災活動事例集」

「ゆめ風基金」は、阪神・淡路大震災で被災した障害者の生活復興を支援するとともに、いつどこで起こるかもしれない災害の備えとして救援基金を設置し、障害者や高齢者、病弱な人など特別なニーズをもつ人が生命や人権を脅かされないことがないように、適切な支援活動が行われるようにサポートすることを目的とした法人です。

医療的ケア児の基礎知識～安全なケアを行うために～

7月25日(木) 15:20～16:50

日常生活を送るうえで不可欠な医療的ケアを必要としている子どもは、年々増加傾向にあり、痰吸引や経管栄養などケアの内容は疾患や病状によって異なります。

本講座では、医療的ケア児の基礎知識として、日常生活における支援や、リスクマネジメントと事故発生時の対応などについて、実際に小児訪問看護サービスに携わる講師からお話していただきます。

<講師>

まつい ゆみこ
松井 裕美子氏

訪問看護ステーション あおぞら京都 看護師

1981年 京都府立医科大学附属看護専門学校卒業
京都府立医科大学附属病院
京都赤十字血液センター等で勤務
1999年 京都府医師会看護専門学校
2012年 はるたか会 あおぞら診療所
2013年 5月 訪問看護ステーション
あおぞら京都を立ち上げる

訪問看護ステーションあおぞら
京都は、0歳から100歳まで24
時間365日支えられるステーショ
ンでありたいと、スタッフ一同、北
は岩倉から南は城陽まで走り回っ
ています。

対人援助職に効くストレスマネジメント

7月26日(金) 13:30～15:30

対人援助の仕事は、やりがい大きい分、強いストレスを感じてしまうこともあります。ストレスとうまくつきあいながら健やかに働くためにできることって何でしょう。それは、“ココロの免疫力”を高めること。この研修では、そんなココロの免疫力を高めてストレスに強くなるために、今日から早速できることを学びます。



<講師>

たけだ しんや
竹田 伸也氏

鳥取大学大学院 医学系研究科
臨床心理学専攻 准教授

2006年～2008年 広島国際大学 心理科学部 講師
2007年～2014年 愛媛大学 医学部 非常勤講師
2008年～2018年 鳥取大学 大学院医学系研究科 講師
現在 鳥取大学 大学院医学系研究科 准教授
日本老年精神医学会評議員 等

主な著書・論文

- ★『対人援助の作法: 誰かの力になりたいあなたに必要なコミュニケーションスキル』(中央法規出版 2018)
- ★『対人援助職に効く 認知行動療法ワークショップ: 専門職としての力量を高める3つのチカラ』(中央法規出版 2017)
- ★『対人援助職に効く ストレスマネジメント一ちょっとしたコツでココロを軽くする10のヒント』(中央法規出版 2014)
- ★『マイナス思考と上手につきあう認知療法トレーニング・ブック』(遠見書房 2012)
- ★対人援助職者に対する認知療法によるストレスマネジメントプログラムの効果 (ストレス科学研究 2015)

重症心身障害児者の食事（摂食・嚥下）の進め方について

8月2日(金) 13:30~15:00

重症心身障害児者の食事場面の中で、食事形態や介助方法は正しいのか？リスク管理はできているのか？など不安を感じることがあります。サービス利用者も支援する側も食事について不安なく安全に取れることは、健康維持やQOL向上のための重要な要素です。

本講座では、重症心身障害児者の摂食嚥下機能の維持や、誤嚥を防ぐための基礎知識をはじめ、食事形態の留意点や経管栄養の特徴など、支援のポイントについて学びます。また、小児と成人の嚥下機能の違いについてもお話しいたします。



<講師>

ふなだ ともよ
舟田 知代氏

島田療育センター 外来看護師長
摂食嚥下障害看護認定看護師

- 1997年 都立看護専門学校卒業
- 同年、島田療育センター入職、病棟勤務
- 2010年 摂食嚥下障害看護認定看護師資格取得
- 2015年 認定看護師資格更新、認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）修了

主な学会発表

★乳幼児期の摂食嚥下機能を育てる（第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会2017 幕張）

活動実績

日総研 初心者のための重症心身障害者への3大ケアセミナー

看護学校卒業後から現在まで一貫して重症心身障害児者看護に携わり、日々ケアの質を高める取組を実践。外来での家族にも寄り添った支援ができるよう取組んでいます。

ライフステージに応じた重度脳性麻痺の方の支援

8月8日(木) 13:30~15:00

脳性麻痺の子どもたちは、成長とともにさまざまな動作を獲得していきます。しかし同時に、筋肉のこわばりや不随意運動を原因とした痛みや関節拘縮、整形外科的疾患などを発症しやすくなります。また、学齢期から成人期に生活環境が大きく変化することにより、急激な機能低下が生じることも少なくありません。

本講座では、脳性麻痺の方が生涯を通してより良い生活を送るために必要な支援のあり方について学びます。



<講師>

たかしお じゅんいち
高塩 純一氏

びわこ学園医療福祉センター草津
理学療法士

- 1982年 理学療法士免許取得
- 1982年 茨城県厚生連 取手協同病院 勤務
- 1985年 京都大学医療技術短期大学 理学療法学科 勤務
- 1988年～現職

兼務

日本赤ちゃん学会評議員、日本子ども学会理事
立命館大学非常勤講師、Spider研究会代表
関西医療学園専門学校理学療法学科講師
京都大学霊長類研究所野生生物基金脳性まひチンパンジー支援プロジェクト

Kids Loco Project 共同代表

主な著書・論文

- ★環境支援の視座から脳性まひのある子どもたちの運動発達を再考する（発達心理学研究 2017）
- ★肢体不自由児に対する学童期のリハビリテーションのあるべき姿（地域リハビリテーション 2013）
- ★『子どもの感覚運動機能の発達と支援-発達の科学と理論を支援に活かす』（分担）（メジカルビュー社 2018）

サルコペニアを予防・改善する栄養食事ケア

この研修は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。

8月27日(火) 13:30~15:00

サルコペニアは、障害のある方、高齢者の生活機能維持に影響することが近年明らかとなり、転倒との関連性も高いと言われています。筋肉量減少や筋力が低下するサルコペニアの原因の一つとして低栄養がありますが、適切な栄養補給と運動を組み合わせることで改善するとの報告もみられます。

本講座では、栄養食事ケアの基本知識やサルコペニアを改善するための具体的な食事メニューについて、また、偏った栄養摂取のリスクについても学び、日々の栄養食事ケアに役立てます。



<講師>

しで けんいちろう
幣 憲一郎氏

京都大学医学部附属病院
疾患栄養治療部 副部長
管理栄養士

1986年3月 甲子園大学 栄養学部栄養学科 卒業
1986年4月 伊丹市立伊丹病院 栄養士
1986年10月 香川医科大学医学部附属病院 管理栄養士
2001年3月 京都大学医学部附属病院 病態栄養部 栄養管理室長
2013年4月 京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部 副部長
2014年3月 京都女子大学大学院(学術)博士号取得

主な所属学会

京都府栄養士会 副会長

主な著書

- ★『ケースに学ぶ栄養管理・食事指導エキスパートガイド』(共著)(南山堂 2015)
- ★『モチベーションUP 糖尿病教室』(共著)(南山堂 2013)
- ★『ケーススタディで学ぶ臨床栄養学実習』(共著)(化学同人 2011)
- ★『臨床栄養管理法-栄養アセスメントから経済評価まで-』(共著)(健帛社 2011)

サルコペニアを呈する方への効果的な運動について

この研修は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。

8月27日(火) 15:20~16:50

サルコペニアとは、加齢や低栄養、不活動、疾患などによって生じる骨格筋量や筋力の低下のことであり、高齢者だけでなく、誰にでも起こる可能性があります。これらは、日常生活動作を制限する大きな要因となり、QOL(生活の質)の低下を招きます。

本講座では、サルコペニアの基礎やそれらを予防・改善するための具体的な運動の実践方法、運動と栄養摂取の関係性などについて学びます。



<講師>

みきや りょうすけ
三木屋 良輔氏

森ノ宮医療大学 保健医療学部
理学療法学科長 教授
理学療法士

1996年 関西大学 経済学部 経済学科 卒業
2001年 行岡リハビリテーション専門学校 卒業
2010年 大阪市立大学大学院医学研究科医科学専攻
修士課程 卒業

主な研究テーマ

高齢者介護予防、サルコペニア、リハビリテーション栄養、運動時における呼吸・循環応答メカニズムについて

主な所属学会

日本理学療法士協会
日本心臓リハビリテーション学会
日本臨床スポーツ医学会、日本循環器学会

社会活動

地域高齢者への健康増進活動
転倒予防
糖尿病に対する運動療法の普及

行動障害の理解と支援～自傷・他害行為を中心に～

9月6日(金) 9:30～11:30

「繰り返し壁に頭をぶつける」「頻繁に自分のからだを叩く」「外出中に他者を傷つけてしまう」など、知的障害や発達障害の方にみられる自傷・他害行為は、本人の体調や物理的環境、人的条件などによって大きく変化するといわれています。

本講座では、このような行動に対する理解を深め、具体的な対応方法について学びます。



<講師>

おおくぼ けんいち
大久保 賢一氏

畿央大学 教育学部
現代教育学科 准教授

2008年 北海道教育大学 教育学部旭川校 准教授
2014年～畿央大学 教育学部 現代教育学科 准教授
2015年～京都教育大学 非常勤講師
筑波大学大学院博士課程(心身障害学)を修了し、現在は学校支援(教員研修)や福祉事業所における強度行動障害支援にも精力的に取り組んでいる。専門は応用行動分析学、行動コンサルテーション。

主な著書・論文・学会発表など

- ★通常学級に在籍する発達障害児の他害的行動に対する行動支援：対象児に対する個別の支援と校内支援体制の構築に関する検討(特殊教育学研究 2007)
- ★強度行動障害に対するスタッフトレーニングをどのように進めるか？：機能分析的アプローチの成果と普及を考える(日本発達障害学会第50回大会 2015)
- ★『家庭で無理なく対応できる 困った行動Q&A』(共著)(学研教育出版 2015)
- ★いちばんわかりやすいABA入門 そうだったのか行動面の支援 第1回～11回(実践障害児教育 2013～2014)

知的障害のある方の加齢変化の特徴と支援課題 ～ダウン症を中心に～

9月11日(水) 10:00～11:30

障害のあるなしに関わらず、老化には個人差があります。しかし健常者に比べて、障害のある方は早期に加齢変化が起こる傾向があります。

本講座では、知的障害のある方の加齢変化の特徴を、疾患による器質的要因や環境要因の点から学び、変化に応じた支援方法や配慮点について考えます。



<講師>

たまい ひろし
玉井 浩氏

大阪医科大学
小児高次脳機能研究所 所長
小児科医

1979年 大阪医科大学卒業
1985年 大阪医科大学助手(小児科学教室)
1993年 大阪医科大学学内講師(小児科学教室)
1995年 大阪医科大学講師(小児科学教室)
1996年 大阪医科大学教授(小児科学教室)
2019年～現職

学会活動

- 日本小児科学会代議員
- 日本ビタミン学会理事
- 日本酸化ストレス学会功労会員
- 日本小児栄養消化器肝臓学会理事長
- 日本小児神経学会名誉会員
- 日本ダウン症療育研究会会長

社会活動

- 公益財団法人日本ダウン症協会理事
- 社会福祉法人つながり理事

主な著書

- ★『ダウン症児の学びとコミュニケーション支援ガイド』(共著・編集)(診断と治療社 2016)

認知症の方の思いを引き出すコミュニケーション法

この研修は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。

9月27日(金) 10:15~12:15

認知症の方は、症状の進行とともにコミュニケーションが取りづらくなり、本人の不安やストレスが増大します。一方、支援する側の家族や介助者も、本人の行動理解ができないことや思いを引き出せないことにストレスを抱えることもあります。

本講座では、円滑にコミュニケーションを図る手法の1つである「バリデーション」に注目し、認知症の方の行動の意味を考え、相手の感情に寄り添いながら支援するスキルを身につけます。



<講師>

つむら なおこ
都村 尚子氏

関西福祉科学大学 社会福祉学部
社会福祉学科 教授

- ・武庫川女子大学 臨床教育学研究科 後期博士課程修了 (臨床教育学博士)
- ・認定バリデーション・ティーチャー
- ・ABCラジオ, 関西テレビ, テレビ朝日など, 多数メディア出演

社会活動

- ・関西バリデーション研究会代表世話人
- ・「高齢者の尊厳あるまちづくり」(厚労省モデル事業) コーディネーター (2004~2005年)
- ・「認知症高齢者ケアにおけるバリデーション療法の効果に関する実践的研究」(三井住友海上福祉財団助成 2007年)

著書・論文等

- ★『バリデーションへの誘い—認知症と共に生きるお年寄りから学ぶこと』(全国コミュニケーションライフサポートセンター 2014)
- ★『福祉コミュニケーション論』(中央法規出版 2011)
- ★『ソーシャルワークスキル』(みらい 2008)

発達障害のある子どもを持つ家族への支援 ~ペアレントトレーニングについて~

10月3日(木) 9:30~11:30

発達障害のある子どもには、対人関係の困難さや行動のこだわりがあることが多く、親は戸惑いと葛藤を感じながら子育てをしています。本講座では、京都ペアレントトレーニング研究会から二人の講師をお招きし、発達障害のある子どもを持つ親の悩みをどのように理解し支援するのか、ペアレントトレーニングの概要やポイントなど中心にお話いただき、グループワークも体験していただきます。

【京都ペアレントトレーニング研究会 所属】

<講師>

かんのう ふみか
金納 史佳氏

仏教大学臨床心理学研究センター
佛教大学四条センター 外部講師
臨床心理士

<講師>

いのうえ ともみ
井上 朋美氏

門真市子ども発達支援センター
佛教大学四条センター 外部講師
臨床心理士

※ペアレントトレーニングとは

親は自分の子どもに対して最良の治療(協力)者になることができるという考えに基づいて、子どもに対してではなく親に行われる訓練のことです。また、ペアレントトレーニングを通して子どもの行動をどう捉えたら良いのか、その行動にどう対応すれば良いのかを具体的に学んでいくことで、子どもの望ましい行動を伸ばし、親自身の育児ストレスを軽減させることもできます。

利用者のやる気、QOL向上につながる多職種連携

この研修は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。

10月4日(金) 13:30~15:00

サービス利用者が住み慣れた地域でいきいきと生活を送れるためには、個々の状況やその変化に応じて適切なサービス、多様な支援の提供が望ましく、また、生活場面で利用者の能力が発揮できるよう、各職種が専門性を生かし連携することが重要となります。

本講座では地域包括ケアシステムの構築や地域支援に関わる講師から、多職種連携の効果や地域課題などについて、具体例なども交えお話いただきます。



<講師>

ふじわら けいじ
藤原 慶二氏

関西福祉大学 社会福祉学部
社会福祉学科 准教授
社会福祉士

2003年 桃山学院大学社会学部社会福祉学科卒業
2006年 頌栄人間福祉専門学校 専任講師
2008年 関西福祉大学 社会福祉学部 助教
2010年 桃山学院大学大学院博士後期課程 社会学研究科 修了
2012年 関西福祉大学 社会福祉学部 講師
2015年～現職

所属学会

日本社会福祉学会
日本地域福祉学会
日本福祉文化学会

社会活動

兵庫県地域創生戦略会議企画委員会委員
明石市地域包括支援センター運営協議会会長
相生市地域包括ケアシステム推進会議会長

主な著書・論文

- ★『ソーシャルワーク演習ケースブック』(みらい2012)
- ★『【新社会福祉講座】相談援助技術の発見』(あいり出版 2009)

高齢者のための摂食・嚥下機能支援

この研修は「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室」との共催です。

10月4日(金) 15:20~16:50

高齢になるにつれて、嚥下機能の低下により誤嚥性肺炎や窒息を引き起こす可能性が高くなります。しかし、個々の状態に適切に対応することで、機能改善や重度化を予防することができます。本講座では、摂食・嚥下のメカニズムや加齢による嚥下機能低下(老嚥)についての基本的知識を深めます。また、嚥下機能の低下を防ぐ方法や、実際の食事場面での工夫など、「いつまでもおいしく食べ続ける」ことを目標とした摂食・嚥下機能支援についてもりハビリ専門職の立場からお話していただきます。

<講師>

とくしま ひろき
徳島 大樹氏

京都リハビリテーション病院
言語聴覚士

資格取得後、介護老人保健施設、急性期・回復期病院で9年間の勤務。

2009年 学校法人専門学校 大阪医専 専任講師
2012年 学校法人滋慶京都学園京都医健専門学校 専任講師
2016年～現職

- ・(一社)京都府言語聴覚士会 理事
本会摂食嚥下障害委員会で活動中
- ・摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

学会発表

- ★介護分野への食支援活動の取り組み
京都府言語聴覚士会嚥下ワーキンググループの活動紹介(日本言語聴覚学会2018)

発達障害特性を有する子どもたちの発達支援

10月17日(木) 9:30~11:30

自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)、発達性協調運動障害(DCD)などの特性を有する子どもたちは、生活上の困難を抱えることが少なくありません。本講座では、「環境音に過剰に反応してパニックになる」「反復行動をやめない」「落ち着きがなくて一つの課題に集中できない」など、日常的によくみられる子どもたちの行動に対する理解を深め、具体的な支援方法について学びます。



<講師>

のぶさこ さとし
信迫 悟志氏

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター
准教授 理学療法士

2001年 神戸総合医療介護福祉専門学校理学療法学科卒業
2009年 畿央大学大学院健康科学研究科修士課程修了
2012年 畿央大学大学院健康科学研究科博士課程修了
2015年 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター特任助教
2018年 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター助教
2019年 畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター准教授
現在、大学での研究活動、小・中学校特別支援学級訪問巡回事業、講演活動等を多数行う。

主な著書・論文・学会発表

- ★『子どもの感覚運動機能の発達と支援 発達の科学と理論を支援に活かす』(分担)(メジカルビュー社 2018)
- ★Manual dexterity is a strong predictor of visuo-motor temporal integration in children. (Front Psychol, 2018)
- ★Deficits in visuo-motor temporal integration impacts manual dexterity in probable developmental coordination disorder. (Frontiers in Neurology, 2018)
- ★Transcranial direct current stimulation of the temporoparietal junction and inferior frontal cortex improves imitation-inhibition and perspective-taking with no effect on the Autism-Spectrum Quotient Score. (Front Behav Neurosci. 2017)
- ★小児期の微細運動機能と視覚-運動時間的統合能力との関係性。(日本発達神経科学会第6回大会, 2017, 大阪.)

精神障害の基礎知識② ひきこもり～初級編～

この研修は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

11月7日(木) 13:30~15:00

「ひきこもり」は誰にでも起こりうることで、原因やその状態は多種・多様であり、若者だけでなく、中高年のひきこもりも徐々に増加しています。長期化するひきこもりは、本人や家族の努力だけで解決することは難しく、適切な関係機関との連携も必要となります。

本講座では、「ひきこもり」について基礎的な知識を深め、対象者や家族などそれぞれの状況に応じた支援について学びます。

<講師>

はとこ まさき
波床 将材

京都市
こころの健康増進センター
所長 精神科医

大学病院で研修後、精神科病院、総合病院精神科で臨床医として勤務。

2004年 京都市こころの健康増進センターに勤務。

2011年～現職

- ・精神保健指定医
- ・日本精神神経学会認定 精神科専門医

京都市こころの健康増進センターは、市民の皆さんへのこころの健康についての情報提供をはじめとして、相談援助や精神障害のある方への社会参加の促進などに取り組んでいます。

精神障害の基礎知識③ 統合失調症の陽性症状の理解

この研修は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

11月20日(水) 13:30~15:00

統合失調症の陽性症状である幻聴や妄想は、適切な薬物療法で軽減する場合がありますが、完全に消えない場合もあります。

本講座では、統合失調症の基礎知識や薬物療法などの基本を押さえるとともに、陽性症状の具体例をお伝えし、それを有する方にとって重要な3点～正しい知識(心理教育)、仲間との体験共有、症状があっても暮らしを充実させ自信を取り戻すこと～についてお話しします。

<講師>

おかもと よしこ
岡本 慶子氏

岡本クリニック メンタルケア室
室長 精神科医

12年間、京都市こころの健康増進センターにて精神障害のある方のリハビリテーションと心理社会的療法・グループ療法に従事。

2011年 岡本クリニックメンタルケア室開設

専門分野は統合失調症の心理社会的治療・リハビリテーション。

- ・精神保健指定医
- ・日本精神神経学会認定 精神科専門医
- ・京都精神神経科診療所協会理事

当事者から学ぶことを大切にしています。

講座では、当事者の経験談を交えてお話しします。

精神障害の基礎知識④ アルコール依存症の理解と支援

この研修は「京都市こころの健康増進センター」との共催です。

11月20日(水) 15:20~16:50

アルコールは依存性のある薬物で、習慣的に飲酒していると誰でもアルコール依存症になる可能性があります。早期に発見し、早期に治療を開始することが大切です。

本講座では、アルコール依存症を正しく理解し、治療に結びつけるための医療機関との連携や本人、家族の支援について学びます。

<講師>

あんどう つよし
安東 毅氏

安東医院 院長
精神科医

2006年3月 京都府立医科大学医学部 卒業

2006年4月~2008年3月 済生会滋賀県病院 臨床研修を修了

2008年4月~2011年3月 社団法人水口病院 精神科勤務

2011年4月~2012年3月 医療法人稲門会いわくら病院 精神科勤務

2012年4月~ 安東医院 副院長として勤務

2018年4月~ 安東医院 院長

※現在も、水口病院、いわくら病院で非常勤医師として勤務。

所属学会

- 日本精神神経学会
- 日本アルコール薬物精神医学会
- 関西アルコール関連問題学会
- 日本老年精神医学会

主に京都・滋賀を中心にアルコール依存症の方の治療を行う一方で、京都市こころの健康増進センター、枚方保健所でのアルコール相談を行っています。

てんかんの基礎知識と発作時の介助

11月22日(金)13:30~15:30

てんかん発作にはさまざまな種類があり、その様子も人によって異なります。発作か否かの判断やその初期対応、発作の誘因や予防法、発作を繰り返すことによる脳への影響など、さまざまな側面からてんかんに関する理解を深めます。また、実際の発作場面の実演や看護師による介助の実演を通して、発作の観察ポイントを知り、発作発生時の具体的な対応方法について学びます。



<講師>

かわさき じゅん
川崎 淳 氏

川崎医院 院長 精神科医

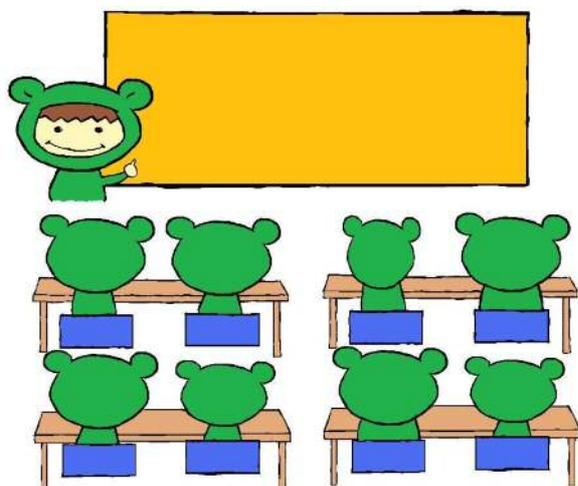
1987年 京都大学医学部卒業。京都大学医学部附属病院を経て、1989年 国立療養所（現国立病院機構）宇多野病院レジデント。1992年 同病院精神科医師。2001年3月より同病院精神科医長。2005年4月より川崎医院院長。

主な所属学会

- ・日本てんかん学会評議員
- ・日本てんかん学会認定医（臨床専門医）
指導医

主な著書

- ★『てんかん発作—こうすればだいじょうぶ—発作と介助 「てんかん」入門シリーズ1』（日本てんかん協会編：クリエイツかもがわ2008（改訂版2014））
- ★『トコトンわかる てんかん発作の聞き出し方と薬の使い方』（金芳堂2017）



現場で役立つ！介助方法

介護や福祉の現場では、多くの職員が腰痛に悩まされています。利用者の能力を最大限引き出すことによって、介助者にかかる負担も少なくなり、利用者の機能維持にもつながります。数ある介助方法の中から、利用者の身体の状態に合わせて、その状況に適した介助方法を選択できるように学んでみませんか。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士です。



～移乗編～

6月25日(火)15:00～17:00
8月23日(金) 9:30～11:30
10月24日(木)13:30～15:30

「移乗編」では、立ち上がりや方向変換など、移乗に関連する動きのしくみを考えます。また、利用者の身体機能や体格に合わせたさまざまな種類の移乗方法などを実習を通して学びます。

*各日程とも同様の内容を行います。
動きやすい服装でご参加ください。



～ベッド上移動・起き上がり編～

7月30日(火)13:30～15:30
12月2日(月) 9:30～11:30

「ベッド上移動・起き上がり編」では、ベッド周囲の動作（臥位での上方移動や側方移動、寝返り、起き上がりなど）の動きのしくみを考え、利用者の身体機能や体格に合わせたより良い介助方法について実習を通して学びます。

*各日程とも同様の内容を行います。
動きやすい服装でご参加ください。



現場に活かす！機能維持体操 ～座位でできる集団体操編～

NEW!

7月18日(木)9:30～11:30 9月13日(金)13:30～15:30

NEW!

- 施設で集団体操の時間があるが、どのような運動を取り入れていいのかわからない。
- 今実施している運動が効果的なものであるのか知りたい。
- 集団で安全にできる体操を知りたい。
- 利用者それぞれの身体機能が異なる場合、どのように運動メニューの内容を工夫すれば良いか知りたい。

このようなお困り事への対応方法について、利用者の身体機能面からお答えします。

加齢とともに筋力は低下し、日常生活に支障を来すようになりますが、その程度は日頃からの運動習慣の有無によって異なります。年齢を重ねてもより良い生活を送るためには、定期的に運動をすることが大切です。本講座では、主に高齢者を対象にした集団体操について、より効果的に、より安全に実施する方法について考え、実践します。



★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士です。

*各日程とも同様の内容を行います。
動きやすい服装でご参加ください。

現場に活かす！機能維持体操 ～臥位でできる個別運動編～

NEW!

8月6日(火)13:30～15:30 11月13日(水)9:30～11:30

NEW!

- 転倒回数が増えてきた。
- 立ち上がりに時間がかかるようになってきた。
- 筋肉のこわばりが強く、おむつ交換の介助に苦労する。
- 歩くときに足先の引っかかりが多い。



このような疑問やお困り事への対応方法について、利用者の身体機能面からお答えします。

施設やグループホーム、自宅などで生活する障害のある方や高齢者は、その生活環境から、からだを動かす機会が少なく、筋力低下やからだの硬さなどが生じやすい状態に陥りがちです。本講座では、定期的からだを動かすことの重要性について学び、日々の生活の中で取り入れることができる個別の運動について実習を通してお伝えします。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士です。

*各日程とも同様の内容を行います。
動きやすい服装でご参加ください。

お風呂に入ろう！

9月19日(木) 13:30~16:30

入浴動作には、脱衣所までの移動、更衣、洗体、浴槽への出入りなど必要な動きがたくさんあります！

入浴動作に必要な身体機能を理解し、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを実際に体験しながら学びます。



トイレに行こう！

10月9日(水) 13:30~16:30

「トイレに行く」ということは、尿意や便意の知覚、コントロール、トイレへの移動、下衣の上げ下ろし、座位保持、後始末など、さまざまな動作・認知能力が要求されます！

排泄を行うために必要な心身機能・能力を理解、福祉用具の選定や環境整備、介助の仕方などを体験しながら学びます。



ご飯を食べよう！

11月11日(月) 13:30~16:30

食事は、生命維持のための栄養補給のほか、生きがいを感じる場、他者とのコミュニケーションの場として、重要な意味を持ちます！

食事に関連する、身体機能、姿勢、動作、自助具、嚥下機能や心理的側面、口腔ケア、コミュニケーションなどを学びます。



★カップに入ったゼリーとスプーンを持参して下さい（お弁当に入れるミニタイプは不可です）。

お出かけしよう！

11月26日(火) 13:30~16:30

「外出する」ことは、介護予防やQOL向上の効果もあります！

歩行補助用具、短下肢装具、車椅子、電動車椅子など体験しながら安全に楽しく外出する方法を学びます。



大人気！「～しよう！4シリーズ」

定員6名の少人数で楽しく体験できます！
講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士です！
動きやすい服装でご参加ください。



車椅子のシーティング～崩れた座位への対処法あれこれ～

9月3日(火) 13:30～16:30

座位の崩れでお困りではありませんか？

車椅子の座り方は、身体の安定性や動きやすさ、生活意欲にも関係します。座位の崩れの原因とその解決方法、座りなおしの介助方法、さまざまなクッションや身近な物での代用、車椅子の調整方法などを学びます。



★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの理学療法士，作業療法士，義肢装具士です。

ゲームを通じたグループワーク

10月25日(金) 10:00～12:00

高次脳機能障害がある方などに対してグループ訓練を実施することは、自己・他者意識、意欲を促進させ、集中力を高めるのに有効といわれています。

今回の実習では、当センターで高次脳機能障害の方を対象に実施しているグループワークを体験していただきます。また、その中で見られた利用者の変化や気づきをご紹介します。

※事業所などでグループワークを実施したいと思っている方やされている方が受講対象です。

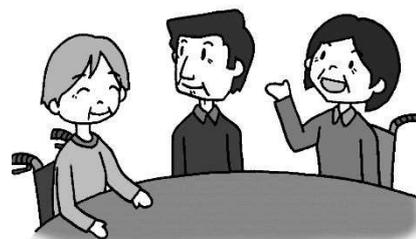
★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの心理判定員，作業療法士です。

失語症の方も一緒に楽しめるレクリエーション

10月30日(水) 10:00～12:00

失語症のある方同士の相互のやりとりを促す活動は、満足度の高いコミュニケーションの機会となるとともに、自分の状態を客観的に受けとめるきっかけになります。

失語症の理解を深め、失語症のある方も共に楽しめるレクリエーション活動を考える機会となる体験を行います。



※日常業務で失語症のある方に接しておられる方が受講対象です。

★講師は京都市地域リハビリテーション推進センターの言語聴覚士です。



事業案内

費用はすべて無料です！
お問い合わせは
当センターまで

障害福祉サービス事業所等訪問支援事業

★障害福祉サービス事業所等訪問支援事業とは

当センターのリハビリ専門職（理学療法士，作業療法士，言語聴覚士など）が市内の事業所に訪問し，利用者の身体機能や動作・運動の介助方法などの相談について，支援者にアドバイスをします。

★相談内容（例）

- ・機能維持のための関節の動かし方や筋肉のストレッチ方法などを教えてほしい。
- ・座位姿勢が歪んでおり，腰痛の訴えがある。対処方法は？
- ・排泄や入浴動作で負担の少ない動き方や介助量を減らす支援方法を知りたい。
- ・食事の際によくむせる。食事姿勢や食物形態，食べ方などをどう工夫すればよいか。

★対象

市内事業所の障害福祉サービス事業所や介護サービス事業所など

★申込方法

京都市ホームページ（「京都市地域リハ」で検索もしくは右記 QR コード読取）より申込書をダウンロードし，ご相談内容を記入の上，郵送または FAX でお申込みください。



失語症のある方の相談支援事業

★失語症とは

脳血管疾患の後遺症などで物の名前が出てこない，言おうと思ったことをうまく話せない，言葉が理解できないなどの症状のことを指します。

★相談内容（例）

復職に関すること，より良いコミュニケーション方法の提案，利用可能なサービスの助言を言語聴覚士が中心となって行います。

★対象

市内在住の失語症のある方，そのご家族，支援者など

★受付方法

お電話（823-1666）または相談窓口（京都市地域リハビリテーション推進センター1階）へ直接お越しください。

地域ガエルのお出かけ講座

★お出かけ講座とは

当センターの専門職員（理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，高次脳機能障害者支援コーディネーター等）がお住まいの地域や勤務先の事業所に出向き，リハビリテーションに関する知識や技術の向上を目的とした講座を開催します。

★内容（例）

- 支援者の腰痛予防について
- 利用者の身体機能低下や転倒の予防法について
- 車いすの基本操作と介助方法について
- 高次脳機能障害について など



★対象

- 市内に在住，在学，在勤する方が10人以上集まる集会
- 市内の障害福祉サービス事業所等や医療機関等において10人以上が集まる研修会など

★申込方法

京都市ホームページ（「京都市地域リハ」で検索もしくは右記 QR コード読取）よりチラシをダウンロードし，郵送または FAX でお申込みください。



高次脳機能障害者支援センター

高次脳機能障害のある方またはその疑いのある方，そのご家族，関係機関等から，高次脳機能障害に関する相談を支援コーディネーター等専門スタッフがお受けしています。

また，高次脳機能障害の理解を深めていただくために，ご本人，ご家族への講座や，障害福祉サービス事業所，医療機関等の支援者の方への研修やネットワーク会議を実施しています。

詳細は京都市高次脳機能障害者支援センターに直接お問い合わせください。

【問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター

※京都市高次脳機能障害者支援センターは，京都市地域リハビリテーション推進センター相談課内にあります。

TEL：075-823-1658 FAX：075-842-1541

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

8：30～12：00及び13：00～16：00



(ホームページ)



(facebook)

京都市地域リハビリテーション推進センター

住 所 〒604-8854
京都市中京区壬生仙念町30
電 話 (075) 823-1666
FAX (075) 842-1541



発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
(令和元年5月)
京都市印刷物 第313039号